

丹波小  
学校便り



# 丹波の流れ



発行日

令和5年12月1日

第6号

文責：芹川

## 『私と小鳥とすずと』



私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、  
飛べる小鳥は私のやうに、地面を速くは走れない。  
私がからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、  
あの鳴る鈴は私のやうに、たくさんな唄は知らないよ。  
鈴と、小鳥と、それから私、  
みんなちがって、みんないい。

この詩は、金子みすゞさんという方のとても有名な詩です。

「みんなちがって、みんないい」は、よく知られたフレーズですが、その一行前には「すずと、小鳥と、それから私」と書かれています。

この一文は、詩のタイトルで一番最初にいた「私」を最後に持ってきています。

「あなたがいて私がいる。あなたと私、どちらも大切」と考えた時にはじめて、「みんなちがって、みんないい」という言葉が生まれてくるということです。みすゞさんにとっては小鳥もすずも『自分そのもの』であり、それは『**自分**』という存在は**自分以外の誰かがいて、初めて成り立っている**』ということを伝えたいかたではないでしょうか。

「みんなちがって みんないい」は、「みんな違うから自分は自分。自分の好きにしていっていい。」とか「これが自分の個性です」と主張をすることではないと書かれており、個性尊重ばかり重視されると、『私』ばかりに重点が置かれ、「みんなちがって、みんないい」の一文が、個人のわがままを助長することにも繋がりがかねないのだということも感じます。

今、世の中は「共生」を目指しています。人は一人では生きていけない、お互いを受け入れ、お互いに支え合い、助けられ、世の中をつくっていくのだということを私はクラスや学年の生徒たちによく話をしました。このみすゞさんの詩は、現在を生きる私たちに大切なことを教えてくれているように感じます。

学校も同じで、いろいろなよさをもった14名の児童と教職員がいて、丹波小学校がつくられており、学校は「小さな社会」を表しています。

1人きりだと何も起こることがない心のざわつきは、人が増えることにより大きくなります。また、そのざわつきは「**相手に対する思いがある**」ということを意味すると私は思います。

初めて行ったところで通り過ぎた知らない人にイラつきはしません。それは、「知らない人」「もう二度と会わない人＝関心がない」からです。しかし、心がざわつくのは、知っている人だからこそ、「**相手のことを知りたい**」「**自分のことを理解してほしい**」という心の葛藤から起きるのではないのでしょうか。そのざわつきは人の成長には必要で、どのように人と関わっていけばよいのかを学んだり、いろいろな人がいるということを知ったり、知った上で相手を受け入れ、よいところを見ていく力を育てていくことがとても大事なことだと思いませんか？

それらを学べるのが「学校という存在」で、「学校のよさの1つ」ではないのでしょうか。

# 今年度の研究

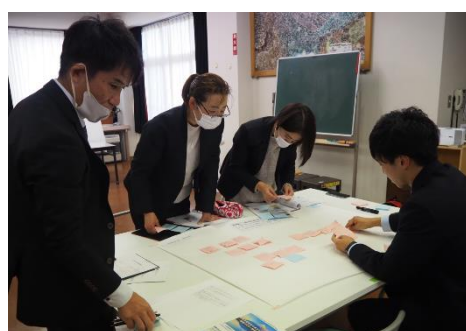
教員には、地方公務員法、教育公務員特例法という法律のもと、研修を受ける機会が与えられています。今、教育におけるキーワードとしては「個別最適な学び」「協働的な学び」「インクルーシブ教育」を意識した研究が盛んです。本校は、児童や本校の実態から、児童一人ひとりに焦点をあて、一人ひとりの力を高めるため、「自ら学び、生き生きと学習に取り組む児童の育成」というテーマのもと、全職員が授業の在り方を研究しています。

11月1日に北原教諭が1年生で国語の研究実践を提案しました。「じどう車くらべ」という単元の学習でした。教科書だけでなく、ICTを活用し、絵本や動画、文字、具体物等、児童が自分で学びやすい学習方法で課題を導き出していく授業でした。外部から講師をお呼びし、研究の方向性について検討をし、講師からご指導やご助言をいただきました。いただいたご助言を今後の指導に生かしていきます。

教育は「生もの」です。子どもたちの成長とともに、日々、教育も変化しています。児童の実態把握につとめ、児童がどこの場所にいても、取り残されることのない力をつけられるよう、日々の実践を大切に、授業改善を図っていききたいと思います。



1年 北原教諭 国語の授業の様子



研究会の様子



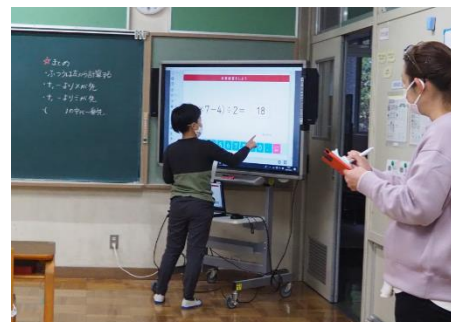
6年 境教諭 社会の授業の様子



2年 弦間教諭 国語科の授業の様子



3年 奥秋香教諭 国語の授業の様子



4年 荻田教諭 算数の授業の様子



# 読書週間 読み聞かせ



今回は、“読書の秋”から『読み聞かせ』についてお知らせいたします。丹波小学校では、毎年読書週間の中で「おすすめの本」の紹介や「読み聞かせ」を行っています。おすすめの本は、子どもたちと教職員が一人ひとり文で本を紹介します。また、「読み聞かせ」は、保護者の方々にも御協力いただき、朝読書の時間に行っています。

丹波小の子どもたちは、本好きな子どもが多いので、この機会を通してたくさんの本に親しんで欲しいと思います。御協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



## 消防署見学

11月21日（火）午前中。

3年生は社会科見学で消防署に行きました。見学に行く前にも校舎内にある消火器等を見つけ、どのようになっているのか事前学習をしっかりとしました。



消防署に行っても質問し、前向きに見学をすることができました。

普段、乗ることができない救急車に乗り、酸素濃度を測ったり、消防車についている大きな消火ホースを持ったりすることができました。

出動の様子を目の当たりにし、素早く着替える姿に感動したようです。



丹波山出張所のみなさん  
ありがとう  
ございました。





# はしご車体験

3年生が社会科見学に行った午後、全校児童がはしご車に乗る体験をしました。1年生は国語の授業で「はしご車」について学習しており、実際に目の前で見ることによって「しっかりと頑丈な足（アウトリガー）がある」「長く伸びる手（はしご）がある」「人を助けるかご（バスケット）がある」と実体験を通して学習をさらに深めることができました。

地上から25mも高いところまで上がり、子どもたちは大喜び。

本来、はしご車が活躍するということは、火事が起きているということです。

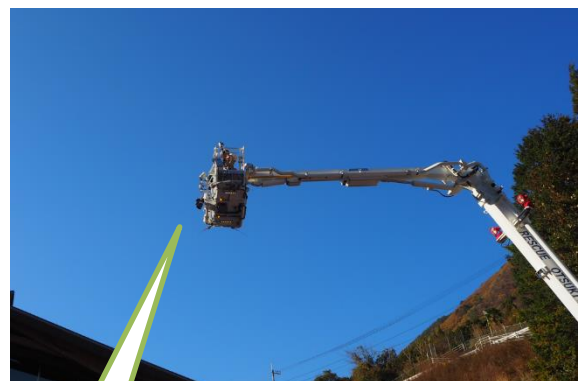
子どもたちにもその部分についてはこれから担任が話をし、「楽しかった」ということだけにならぬよう、キャリア教育の視点も踏まえ指導をしていく予定です。ただ、普段、乗ることができないはしご車に乗れた経験は、これから先、子どもたちの人生において貴重な財産になることと思います。

大月市消防本部のみなさん、本当にありがとうございました。

しっかりと握りしめた手から緊張が感じられます。



たくさんの質問から深まりを感じます



高い！

